

相模原近郊緑地特別保全地区

『木もれびの森』の保全管理



コナラ、クヌギなど雑木林が連なり相模野の面影を残す「木もれびの森」は、73haもの広さで現存する市街地に残された貴重な平地林で、首都圏近郊においては良好な自然環境を有する緑地として1973年に「近郊緑地特別保全地区」の指定を受け保全されています。

相模原市では「みどりの拠点」「みどりの景観拠点」に位置付け、市民共有のみどりの財産として次世代に引き継ぐため、樹林の保全管理を行うとともに、人々が緑にふれ合う拠点としています。

保全管理は、市民参加型で行われており、市と協定を結んで活動するボランティア団体「NPO法人相模原こもれび」「東若会」「大野台みどりを守る会」を中心に、地域自治会、CSR活動に取り組む企業等との協働も図られています。

相模原市では、NPO法人相模原こもれびと協働して、森の中で見られる動植物等をまとめたマップを発行しています。秋の散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

NPO法人相模原こもれび
東若会（とうわかかい）
大野台みどりを守る会

大野台・大沼地区
東大沼・若松地区
中央緑地

毎月第2土曜・第3日曜・第4水曜、午前と午後の部
毎月第2・第4木曜日、午前中
主に毎月第3日曜日、午前中



ボランティア活動に関心のある方は、まち・みどり公社（みどり推進課）までお問合せください。

発行：公益財団法人相模原市まち・みどり公社

みどり推進課 TEL 042-751-6624（直通）FAX 042-751-2345

<http://www.sagamiharashi-machimidori.or.jp/>

相模原市中央区富士見6丁目6番23号（けやき会館内）

